



詳しくはこちら

タケシのせかい

室井 滋／文 長谷川義史／絵

【アリス館】1,650 円

絶対に開けちゃダメといわれた、パパの秘密の箱。タケシがこっそり開けると、そこにはドクロマークの小さなビンとパパからの手紙が入っていた。手紙の質問に答えるうちに、タケシは自分の周りにはいろいろな人がいて、お互いを認め合って、共存して生きていることに気づく。そして、秘密の箱の中にあるドクロマークのビンの中身とは？ 室井滋と長谷川義史が描く「ウェルビーイング」のお話。



はやくねないとたいへんだ！

サトシン／作 中谷靖彦／絵

【教育画劇】1,430 円

夜になりました。子どもたちはねる時間。でもね。はやくねないとたいへんなことになりそうです。耳をすませて、よくきいてごらん。なにかの音がする!? まどの外の音? カーテンのうしろのけはい、あれは、いったいなんの音? 心あんなになってしまうこともある、しずかな夜のけはいからいろいろなことをそぞうしますが…。はたして、たっちゃんとかっちゃんは、安心して「おやすみなさい」とねむることができるでしょうか?!

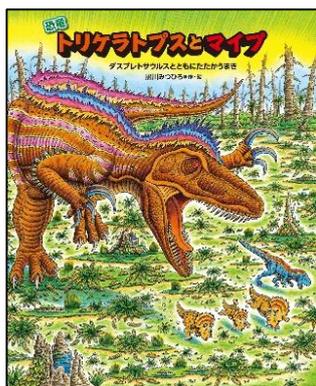


恐竜トリケラトプスとマイプ

黒川みつひろ／作・絵

【小峰書店】1,430 円

川あそびをしていて流されてしまったトリケラトプスの子を、ダスプレトサウルスの子、プレトが助けました。そこに、長いカギ爪をもつ肉食恐竜マイプが2頭やってきて…。子どもたちは、恐ろしいマイプから逃げ切ることができるでしょうか? ダスプレトサウルスのダスも登場し、迫力満点の戦闘シーンが満載。多くの子どもたちからの「次はマイプを描いて欲しい!」というリクエストに応じて描かれました。

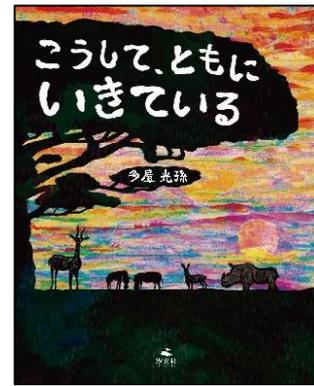


こうして、ともに いている

多屋光孫／作

【汐文社】1,870 円

草原でくらし、同じ草を食べるシマウマとヌー。森でくらし、同じ獲物をかるワシとフクロウ、川でくらし、同じえさを食べるイワナとヤマメ。生き物たちは工夫を重ねながら、同じ場所で生活しています。一方、同じ地球上で戦争や争いを続ける人間……。この本では、たくさんの生き物たちの生態を、そのくらしぶりを比較することで解説しています。大人から子どもまで、地球の未来をみんな考えてきつかけとなる絵本です。



おおかみの おなかの なかで

マック・バーネット／文 ジョン・クラッセン／絵

ながわ ちひろ／訳

【徳間書店】1,870 円

ある朝、ねずみは、おおかみにばくっと食べられてしまいました。ところが、おおかみのおなかのなかには、あひるがすんでいました。そして、ここには、パンのみみやジャム、ベッドとなんでもあるし、おおかみに食べられる心配をしなくてもいい、外の世界にはもどりたくない、と言います。そこで、ねずみもいっしょにくらすことに。ところが、りょうしがおおかみをねらって…。人気絵本作家コンビが贈る、ユーモアあふれる絵本。



あっぱれ! われらのてんぐさま

オノガワアサコ／作・絵

【フレーベル館】1,540 円

自慢の鼻におできができて、寝こんでしまったてんぐさま。プライドの高いてんぐさまは「このことはだれにも知られとうない!」と、いじけるばかり。「よいか、てんぐさまの鼻におできができたことは、誰にも知られてはならぬ」。こてんぐたちは、なんとか極秘で治そうと、てんぐさまの鼻をうちわであおぎます。すると、鼻だけがよろりとのびて…。第12回武井武雄記念日本童画大賞絵本部門大賞作。

